

新しい英語教育を指向する
バーチャルクラスルームの構築

6 J-6

橘川 孚 木村 清
尚綱女学院短期学

要旨

最近のインターネットの発達は、距離の隔たりや時間の概念を変えてしまっている。この地球規模でのコミュニケーションを可能にする環境を、英語教育に取り入れることが出来れば、従来の教室の中での英語の学習に、グローバルな場での英語の学習と、異なる様々な文化への理解を加えることができる。我々はこの目的で新しい英語教育の場としてバーチャルクラスルームEnglish-plaza を開設した。そして同名のメーリングリストによってインターネット上で運営している。

本稿では、バーチャルクラスルームEnglish-plaza の理念と、その具体的な運用を担う English-plazaメーリングリストの概要とその実際を述べ、今後の展望について考察を加えたい。

1. 英語教育におけるインターネット利用の可能性

最近のインターネットの発達は、距離や時間の概念を変え、遠く海を隔てた国に住む見知らぬ人々や異なる文化的背景を持つ人々との間でも、短時間でコンタクトを取ることができる環境を与えている。この地球規模でのコミュニケーションを可能にする環境を英語教育に適用できる可能性は大きい。

従来の英語教育では、国際語としての英語の技能（読み、書き、聴き、話す能力）の訓練を基に、英語の文学と文化に関する研究、歴史背景や構造等も含めた言葉とコミュニケーションに関する研究、実務関係の英語の研究など、多彩な教育活動が教室という環境の中で教師と学生が向き合う形でおこなわれてきた。

英語教育の環境を学校の中の教室から、地球規模に広げた教室を考えると、その構成員を学校の枠を越えて、学生ばかりでなく、地球上の各地に住む異なる文化的な背景を持った個人とするならば、そこに学ぶ人々はお互いが平等の立場で直接にふれあうことでの相互啓発が期待でき、新しい形の英語教育の場としてのバーチャルクラスルームを成立させることができる。

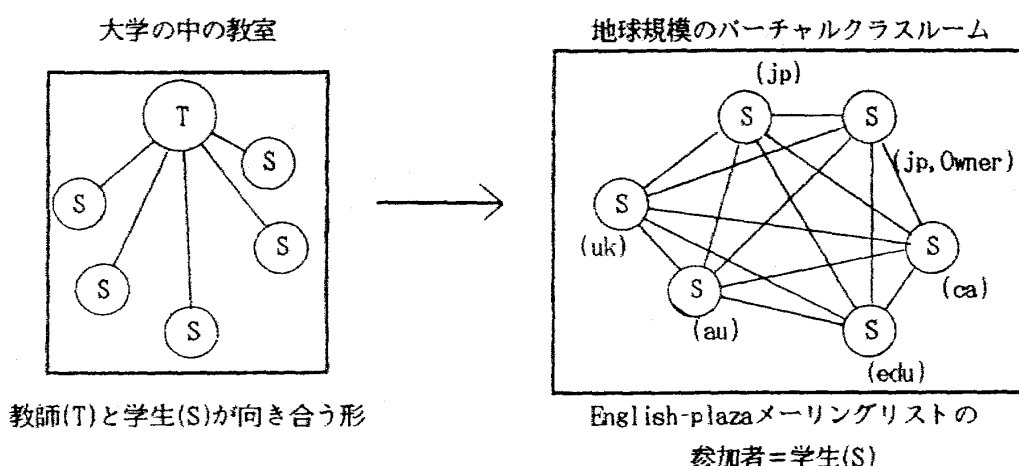


図1 インターネットを用いた英語教育の概念図

タイトル英文: Building a Virtual Classroom in an Era of New English Education

Makoto Kikkawa, Kiyosi Kimura

Shokei Women's Junior College

2. バーチャルクラスルーム English-plaza の構築

前項に述べたバーチャルクラスルームは、現在本学英文科の選択科目「ことばとコミュニケーション」のなかの講座に「パソコン通信 (International Communication through Computer Network)」として開設され、English-plaza メーリングリストによってインターネット上で運営されている。当初は、本学からは英語で英語圏の大学からは日本語で交流する "Virtual Classroom" として計画され、相手大学の募集を始めたが、結果として相手大学が得られなかった。その理由は次にある。

- ・外国で日本語を扱うための入力出力の困難。
- ・双方の学制と外国語教育の差。
- ・最近の通信技術の発達についての国内外の実状と意識の差。

しかし本講座の選択の希望者は 141名と30名定員を大幅に上回ったため、相手大学が決まらないまま授業を開始する状況を回避する形で、English-plaza メーリングリストが開設された。バーチャルクラスルーム English-plazaの誕生である。

English-plaza メーリングリストはこのバーチャルクラスルームを支え運用するため、その目的を「For those who would like to exchange cultural and linguistic information in English and for those who wish to practice reading and writing in English.」とし、また参加者を「The members are university students studying English and some professionals in Japan, and university students and other people of the countries where English is spoken.」としている。

3. English-plaza メーリングリストの実際

English-plazaの参加者は、現在172名、外国ではアメリカのワシントン州ペンシルバニア州の学生、カリフォルニア州ニューヨーク州の人々、日本では本学学生および各地の大学の学生、一般の社会人、主婦、など多岐にわたっている。

ここに、本学の学生の学習を通して見いだされた若干の利点問題点をあげる。

利点1. 新しい世界に触れる喜びは学生の夢をかきたて、英語の学力向上の源となっている。

利点2. コミュニケーションの積み重ねが新しい絆をそだて、相互理解を深めている。

問題点1. 設備更新で学生各自が自由に送受信できるので、注意が徹底せず授業の緊張感が薄れつつある。

問題点2. 相手が見えない気安さから、相手への配慮を忘れがちで、メールの作法の遵守が不十分である。

問題点3. 自分で話題を捕らえて発言出来ない学生も多く、発言をうながす契機を与える必要がある。

問題点4. 学生は毎年必ず卒業していくため、外国での学生への参加呼びかけが大切となってきている。

4. インターネットの教育利用についての展望

バーチャルクラスルーム English-plazaは、現在は読むだけのメンバーが多く、盛り上がる話題が少なく初期の目的をまだ果たしてはいない。しかし日を追っての参加希望の増加は、この英語教育の方向が世の趨勢であることを示唆している。これからのグローバルな社会では、インターネットの存在が人と人とのあり方を変え、学校の存在も教育の手法も、変革の時期を迎えることになると思われる。

参考文献

鈴木博、国際電子メール利用の英語作文指導6年間の総括、The Proceedings of The Department of Foreign Languages and Literature, The University of Tokyo, 1993